

## 編集後記

——▲ 十四年前にギリシャ語学文  
——▲ 学を愛する人々が集まって  
——▲ 旗揚げし、本誌を刊行して  
きました。紙・印刷代の値上がりや  
退会される方もありで収入が減少し、  
紙雑誌発行が非常に困難になってい  
ました。ここ数年間支出削減を試みて  
きましたが、続けることが無理な状態  
に立ち至り、会員各位からの御意見も  
検討した結果、今 29 号をもって紙雑  
誌発行は終了となりました。紙の手触  
り、香りの魅力は言うまでもありませ  
んが、致し方ありません。ただし、広  
島大学図書館のリポジトリ掲載（無料  
公開）は今後も続ける予定です。

最後の紙雑誌には、毎号精力的にご  
投稿される方々に加えて、茂木政敏さ  
んと新会員の土居英樹さんにもカヴ  
ァフィス詩と「バシレイオス伝」のテ  
ーマでご投稿いただきました。今後も  
より多彩で読み応えある内容になれ  
ばいいなと思います。

今年度からカザンザキス翻訳に精  
力的な其原哲也さんと古代ギリシ  
ャ・ローマ哲学専攻の中西捷渡さん  
のお二人に運営委員に加わっていただ  
きました。会の躍進力を高めてくだ  
さるものと期待しています。

今後とも『プロピレア』をよろしく  
お願いいたします。（橘）

——▲ 日、三日は郵送に時間がか  
かるため締め切り日よりも  
——▲ 前に原稿を完成さなければ  
ならなかったのが昔話のようです。今は  
電子メールに原稿ファイルを添付す  
れば一瞬で相手に届くので、締め切り  
ぎりぎりまで執筆することができます。  
また完成原稿を写真製版していた頃、  
初校は文字を切り貼りしていました。  
小さな紙片が歪まないよう息を止め  
糊付けしたのが懐かしい思い出です。  
データの送受信で校正ができる現在  
ではこれも想像できないような作業  
なのではないでしょう。

プロピレアの発行がこれまで継続  
できたのは投稿や編集の方法が迅速  
かつ簡便になったためだけではありません。  
意欲的な投稿者の方々と精力的  
な編集委員の連携があったことは  
もちろん、言うまでもないことです。  
なかなか原稿が集まらず会費の納入  
状況が悪化するなか会の運営と雑誌  
編集の責務を一人で負ってこられた  
前編集委員長の井浦伊知郎さん、印刷  
費用や紙代の相次ぐ値上にもかかわ  
らずプロピレアの発行を低コストに  
抑えられるようにご尽力くださった  
沼田総合印刷の上廣尚史さんと折重  
弘一さんに心から感謝いたします。あ  
りがとうございました。（佐藤）